

「建築・都市レビュー叢書③」

宮繕論

内田祥士(うちだ・よしお) 著

ISBN978-4-7571-6072-9 予価:2600円 四六判並製・256ページ(予定)

リノベーションはなぜ困難なのか?

「宮繕」とは、もともと「つくる」と「なおす」を意味する熟語で、千数百年に及ぶ歴史を持つ言葉であったが、近代における建築の工業化において、その意味が「なおす」に限定されたうえ、退屈なものとして捉えられるようになった。本書は、本来の意味での「宮繕」に換骨奪胎することで、「つくる」一辺倒だったモダニズム建築に一石を投じる。

目次

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 第1章 希望の建設・地獄の宮繕 | 第6章 オプティミズムとデカダンス |
| 第2章 ライフデザイン学入門 | 第7章 美と壮麗 |
| 第3章 量を担った技術を考える | 第8章 現実としての現代日本建築 |
| 第4章 日本のモダニズム | 第9章 保全性の現在 |
| 第5章 瓶と缶からのアナロジー | 第10章 虚構の建設・希望の宮繕 |

著者略歴

内田祥士(うちだ・よしお):1955年生まれ。建築家。東洋大学ライフデザイン学部教授。「宮繕」という今でいうリノベーションや修復という切り口から、独自の建築論を展開している。

NTT出版株式会社

〒141-8654 東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル3F
営業部 TEL:03-5434-1010 [土・日・祝日を除く]

書店印	条件	書籍名	本体価格	ISBNコード	冊数
	新刊委託	宮繕論	予価:2600円	978-4-7571-6072-9	
	注文	モダニズムの臨界	2600円	978-4-7571-6071-2	

※『モダニズムの臨界』は新刊と同時期に出庫致します

ご担当者名

FAX 03-5434-9200
(24時間受付中)